令和8年4月開講

社会人学生募集（修士課程1年間）

リカレント教育

地域共生マネージメントプログラム

文部科学省「職業実践力育成プログラム」認定講座
厚生労働省「専門実践教育訓練給付制度」指定講座

■企業・地方自治体・公益法人・NPOに所属する職員等、地域のマネージメント及びイノベーションを担う社会人のための修士課程（1年間）です。

■職場や地域で抱えている(取り組んでいる)課題を特定課題研究として大学教員と一緒に解決していくプログラムです。

■幅広い農学分野の専門知識、地域活性化のための課題発見能力や実践的マネージメント能力を身に付けます。

■文部科学省「職業実践力育成プログラム」の認定講座です。職業実践力育成プログラム（BP）とは、大学等における社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的なプログラムであることを文部科学大臣が認定する制度です。

プログラムの特徴

■在職のまま、信州大学大学院修士課程で正規学生として学びます。修士の学位を取得することが出来ます。受講期間:令和8年4月～令和9年3月（1年間）

■入学時から指導教員の研究指導のもと、特定課題研究として普段の業務等で抱えている諸課題を教員と共に考え解決に向けて取り組みます。研究指導は対面で実施します。

■少人数、個人指導体制、充実した研究環境

■社会人でも学びやすい履修環境。座学講義は、対面とZoom等のハイブリッドで実施します。講義室でも自宅等からでも受講が可能です。仕事や研究のため講義室で受講できない場合には、オンデマンドで受講することができます。（グループディスカッション等、授業内容の性質によっては、対面出席を求める回があります。）

出願方法

- 出願する前に、必ず農学部ホームページ入試情報にて「学生募集要項」を確認してください。（9月上旬掲載予定）
- 出願を希望される方は、出来るだけ早めに、希望する指導教員と連絡をとり、出願準備をしてください。

出願期間	令和7年10月下旬（予定）
入 試 日	令和7年11月中旬（予定）

授業科目・研究・学位論文

座学講義	研究・論文作成
•地域連携・経営学特論Ⅰ・Ⅱ •地域環境計画学特論 •生産環境システム学特論Ⅰ •動植物環境共生学特論 •生命産業科学特論 •食品バイオサイエンス特論	• 地域課題探究特論 • 地域課題探究演習Ⅰ・Ⅱ • 特定課題研究
受講方法：• 講義室（対面） • 自宅等（オンライン） • 授業動画視聴（オンデマンド）	受講方法：• 指導教員の直接指導

1年間（4月入学）／修了要件：30単位以上

修士課程修了

農学分野の専門技術者を育成します

職場で抱えている課題を一緒に解決しましょう

入学料	282,000円	授業料（年額）	535,800円

雇用保険被保険者の方は、教育訓練経費（入学料・授業料）の最大 70%～ 80%がハローワークから支給されます

専門実践教育訓練給付制度指定講座

支給要件を満たす雇用保険の一般被保険者の方が、本プログラムを受講・修了し、所定の申請を行えば、信州大学に支払った入学料・授業料の70%の金額（上限56万円）をハローワークから受給することができます。

修了後、賃金が5%以上上昇した場合には、更に10%（8万円）が追加で支給されます。本制度の利用をお考えの方は、早めにハローワークにお問合せの上、受給資格の有無・手続きについてご確認ください。

修了生の声

人生の中でとてもいい機会をいただきました。学生の頃とは異なる、社会人だからこその視点と姿勢で、研究と向きあうことの重要性に気づき、実感することができました。

このプログラムに参加して得ることができた研究姿勢、視点、人脈や考え方は、今後も私生活や業務において土台の一部になるとても貴重なものだと感じています。

社会課題や自身の活動に対する学術的なアプローチと、そのための視点をいただきました。地域課題に特化した内容の研究ができました。研究結果については、関係者と共有し、実務で生かしていきます。

問い合わせ先

信州大学農学部 学務グループ 入試担当

電　話 | 0265-77-1310

メール | nou_nyushi@shinshu-u.ac.jp

所在地 | 〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

プログラム詳細については、ホームページをご確認ください。

https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/graduate/management/

信州大学 SHINSHU UNIVERSITY | 大学院 総合理工学研究科